

令和2年度和歌山県文化奨励賞

なか たに まさ ふみ
中谷 政文

住 所 東京都板橋区
出身地 和歌山県和歌山市
生 年 昭和58年

◎ 業績及び経歴

昭和58年和歌山市に生まれる。4歳からピアノを習い始め、幼くして才能を開花させる。平成6年に第48回全日本学生音楽コンクール全国大会ピアノ部門小学校の部で第1位、そして、平成9年に第51回全日本学生音楽コンクール大阪大会ピアノ部門中学校の部で第1位に輝く。平成10年に和歌山市児童・生徒文化奨励賞を受賞する。

平成14年に東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を卒業後、同大学音楽学部器楽科ピアノ専攻へ進学する。大学卒業後は、奨学生としてアメリカへ留学し、平成22年度にインディアナ大学ジェイコブズ音楽学部ピアノ専攻の修士課程を修了。その後、マイアミ大学フロスト音楽学部ピアノ演奏・教授法専攻の博士課程に進み、ティーチングアシスタントを務め、平成29年に論文「The Effect of the Developing Variation Technique on Brahms' Early Piano Solo Works in the Form of Theme and Variations (日本語訳：ブラームスの初期のピアノ変奏曲作品における発展的変奏技法の考察)」において博士号を取得し同大学を卒業する。

第8回ソフィア国際ピアノコンクール第1位、ニューオーリンズピアノインスティテュートピアノ協奏曲コンクール第1位に輝くなど、幼少期から現在まで国内外の多数のコンクールで受賞を重ねる。また、国内外のコンサートにも多数出演し、平成14年から毎年首都圏内のホールにて開催する、男性ピアニスト5人によるコンサートシリーズ「絆」は、大きな反響を呼ぶ。帰国後は、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」や「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」などにソリストとして出演し、令和元年には故郷和歌山での「きのくに音楽祭」にも出演。

「音楽は主に旋律、リズム、和声の3要素によって成り立つが、中でも特に和声の移り変わりには、安らぎ、期待、怒り、歓喜など人間の濃密な感情が入り交じる美しさがある」と語る氏の演奏は、高度な演奏技術のみならず、迫力を持ちながらも繊細かつ豊かな表現力及び叙情性を兼ね備えた、聴衆の心に訴えかけるものであり、将来一層の活躍が期待できる。

■ 現 在

・ピアニスト

◆ 主な表彰歴等

- | | |
|-------|--|
| 平成6年 | 第48回全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第1位及び野村賞 |
| 平成9年 | 第51回全日本学生音楽コンクール大阪大会ピアノ部門中学校の部第1位 |
| 平成10年 | 和歌山市児童・生徒文化奨励賞 |
| 平成18年 | 第22回マルサラ市国際ピアノコンクールファイナリスト
ディプロマ賞 (イタリア) |
| 平成20年 | 第8回ソフィア国際ピアノコンクール"アルベール・ルーセル"第1位、Y. Boukoff賞 (ブルガリア) |
| 平成22年 | 第6回サンダニエル国際ピアノミーティングショパン賞 (イタリア) |
| 平成24年 | 第27回ウィリアム・カペル国際ピアノコンクール Martha M. Boucher記念賞 (アメリカ) |
| 平成29年 | ニューオーリンズピアノインスティテュートピアノ協奏曲コンクール第1位 (アメリカ) |
| 平成30年 | 和歌山市文化奨励賞 |